

福祉心理学科

DP	評価の観点	項目	項目の解説	4	3	2	1
DP1 共生社会づくりにつながる、基礎的な知識・技能を身に付けている。	教養と専門分野の基礎的知識・技能	専門分野の基礎的知識・技能	十分な教養に基づく専門的知識を組み合わせて、各自が得した専門分野の内容を軽視することができる。	自分の選択した専門分野の知識の構成を重ねて理解している。また、大まかに得て幅広い分野の科目（総合基礎科目含む）をいくつも選んで得ている。	自分の選択した専門分野についての基礎的な知識を理解している。また、大まかに得て幅広い分野の科目（総合基礎科目含む）をいくつも選んで得している。	全ての学年のために必要な教科の基礎知識を得て理解している。また、大まかに得て幅広い分野の科目（総合基礎科目含む）について、十分な力を發揮している。	全ての学年のために必要な教科の基礎知識を得て理解している。また、大まかに得て幅広い分野の科目（総合基礎科目含む）について、十分な力を發揮している。
DP2 多様な価値観を理解し、共に生きる社会をめざして行動できる。	共生社会の態度	多様な価値理解と共生社会実現に向けた態度	多様な価値観を持つ人々を尊重できる基盤で、社会の実現に向けて行動できる。	自分自身も多様な価値・考え方、価値観を持つ人々と積極的にコミュニケーションを取ることができる。	自分自身も多様な価値や考え方、価値観を持てる人を尊重できる。	様々な価値や考え方、価値観を持つ人々と一緒にやっていくことができる。	様々な価値や考え方、価値観を持つ人々と一緒にやっていくことができる。
DP3 高い倫理観をもち、他者と協働して新たな価値を創造することができる。	協働する力	立場の異なるもののが、一つの目的に向かって、それぞれの特性をもって役割分担しながら取り組むための力	他者が協働作業をするときに、個体の目的を理解し、その過程にて向けて個々の役割に応じて常に自己見直し、自己調整の意図で行動できる。	他者と協働作業をするときに、自分の役割を適切に果すことができる。他者のメンバーの役割に理解し見直すことができる。	他者と協働作業をするときに、与えられた役割を他者と調整しながら仕事をしてできる。	他者と協働作業をするときに、自分も他のメンバーと共に役割の責任があることを理解している。	他者と協働作業をするときに、自分も他のメンバーと共に役割の責任があることを理解している。
	他者理解と創造	相手のことを理解しようと努力して、異なる考え方で触れて起こるアイディアの創造	他者の強調点や考え方の差異を理解するこことで、自己の強調点や考え方を引き取った新たなアイディアを創造することができる。	他者の価値観や考え方を受け止め、対話を通じて相手への理解を深め解釈し、言葉にすることができる。	相手の言っていることを受け止め、自らなりに理解しようとするとともに、不明点を質問することができる。	自分のことを伝え、相手のことを理解しようとする意欲がある。	自分のことを伝え、相手のことを理解しようとする意欲がある。
DP4 ソーシャルワークや心理的支援に関する専門的な知識・技能を身に付けている。	ソーシャルワークや心理的支援に関する専門的な知識・技能	ソーシャルワークや心理的支援に関する専門的な知識・技能	ソーシャルワークや心理的支援に関する専門的な知識・技能について理解しており、社会の中での活用を検討することができる。	ソーシャルワークや心理的支援に関する専門的な知識・技能について理解しており、社会の中での活用について検討することができる。	ソーシャルワークや心理的支援に関する専門的な知識・技能について理解している。	ソーシャルワークや心理的支援に関する専門的な知識・技能について理解しようとしている。	ソーシャルワークや心理的支援に関する専門的な知識・技能について理解しようとしている。
DP5 ソーシャルワークや心理的支援の専門的視点から明確な課題意識をもち、論理的に自分の考えを創ることができます。	情報の収集と分析	種々のメディアを介して情報を検索・収集し、適切な情報を精査し分析する力	種々のメディアから必要な情報を効率的に収集し、適切な情報を収集・検索することができる。	種々のメディアから必要な情報を複数収集し、適切な情報を収集・検索することができる。	種々のメディアから必要な情報を収集することができる。	種々のメディアから必要な情報を収集することができる。	種々のメディアから必要な情報を収集することができる。
	論理的思考力	目前にいる状況に対して、複数の客観的な根拠の中から最も信頼し易い筋道を立てて組み合せて納得解説するための力	課題解決において、複数の客観的な根拠やデータなどをもとに、自分の意見を述べる力も持つ。自分の意見を述べる力も持つことができる。	課題解決において、複数の客観的な根拠やデータなどをもとに、自分の意見を述べる力も持つ。自分の意見を述べる力も持つことができる。	課題解決に向けて、客観的な根拠やデータをもとに、自分の意見を述べようと考えることができる。	課題解決において、自分が適切に使う理由や主張の根拠を述べようと考えることができる。	課題解決において、自分が適切に使う理由や主張の根拠を述べようと考えることができる。
	問題の発見と解決	専門的な知識を使って、自分なりの問い合わせるための解決のための思考を創るための力	ソーシャルワークや心理的支援に関する専門的な知識・技能について理解しており、社会の中での活用について検討することができる。	ソーシャルワークや心理的支援に関する専門的な知識・技能について理解しており、社会の中での活用について検討することができる。	ソーシャルワークや心理的支援に関する専門的な知識・技能について理解しようとしている。	ソーシャルワークや心理的支援に関する専門的な知識・技能について理解しようとしている。	ソーシャルワークや心理的支援に関する専門的な知識・技能について理解しようとしている。
DP6 福祉や心理に関する諸課題の解決のために学び続ける意思をもっている。	自律的に学び続ける力	目前の諸課題解決にむけて、自らをコントロールして継続的に学ぶ力	自分なりに目標に向かって、困難な課題をもとに自分なりに目標に向かって、難題を解決する力がある。	自分なりに目標に向かって、試行錯誤をしながら取り組み、その結果を振り返ることができる。	自分なりに目標に向かって、自学で深め最後まで粘り強く取り組むことができる。	自分なりに目標に向かって、サポートを受けながら解決にむけて取り組むことができる。	自分なりに目標に向かって、サポートを受けながら解決にむけて取り組むことができる。

健康福祉学科

DP	評価の観点	評価基準
	項目	項目の解説
DP1 共生社会づくりにつながる、基礎的な知識・技能を身に付けている。	教養と専門分野の基礎的知識・技能	専門分野の基礎的知識・技能 十分な教養に基づく専門的知識を組み合わせて、自らが得たした専門分野の内容を説明することができます。
DP2 多様な価値観を理解し、共に生きる社会をめざして行動できる。	共生社会の態度	多様な価値理解と共生社会実現に向けた態度 多様な価値観を持つ人々を尊重されが尊される社会の実現に向けた行動ができる。
DP3 高い倫理観をもち、他者と協働して新たな価値を創造することができる。	協働する力	立場の異なるもののが、一つの目的に向かって、それぞれの特性をもって役割分担しながら組むための力 他者の立場や行動に対する時に、自分の立場を理解し、その過程にて成る困難な状況に適応する力を持ったときの立場を理解し、自己の立場を理解する力を持ったときの立場を理解する力。 他者の立場や考え方を理解するとして、他者の立場や考え方を増進するとして、自己の立場や考え方を引き取るとして、他者の立場や考え方を受け止め、対話を通じて相手への理解を深め解釈し、言葉にすることができる。
DP4 ヘルスリテラシー、ケアワーク、ソーシャルワークに関する専門的な知識・技能を身に付けている。	ヘルスリテラシー、ケアワーク、ソーシャルワークに関する知識・技能	ヘルスリテラシー、ケアワーク、ソーシャルワークに関する専門的知識・技能について理解しており、社会での活動について理解している。 ヘルスリテラシー、ケアワーク、ソーシャルワークに関する専門的知識・技能について理解しており、社会での活動について理解している。 ヘルスリテラシー、ケアワーク、ソーシャルワークに関する専門的知識・技能について理解しており、社会での活動について理解している。
DP5 ヘルスリテラシー、ケアワーク、ソーシャルワークの専門的視点から明確な課題意識をもつ、論理的に自分の考えを創ることができる。	情報の収集と分析	種々のメディアを通して情報を検索・収集し、適切な情報を精査し分析する力 ヘルスリテラシー、ケアワーク、ソーシャルワークの専門的視点から明確に必要な情報を収集し、分析することができる。
論理的思考力	問題の発見と解決	目前にある課題に対して、複数の客観的な根拠を通り抜けてもその根拠は、筋道を立てて組み合せせ難解を避けるための力 専門的な知識を使って、自分なりの問い合わせるところを特定して、問題を解決するための力 専門的な知識を使って、自分なりの問い合わせるところを特定して、問題を解決するための力 専門的な知識を使って、自分なりの問い合わせるところを特定して、問題を解決するための力
DP6 健康や福祉、介護、医療に関する諸課題の解決のために学び続ける意欲をもっている。	自律的に学び続ける力	目の前の課題解決にむけて、自らをコントロールし、また自分をコントロールして学ぶ、深め、課題をやり遂げる力がある。それに結果を評価し、次の行動に活かすことができる。 自ら設定した目標に向かって、困難な課題をしながら取り組み、その結果を振り返ることができる。 自ら設定した目標に向かって、自学で深め最後まで頑張り切り組むことができる。 示された課題に向き合って、サポートを受けながら解決にむけ取り組むことができる。

子ども学科

DP	評価の観点	評価基準
項目	項目の解説	
DP1 共生社会づくりにつながる、基礎的な知識・技能を身に付けている。	教養と専門分野の基礎的知識・技能 専門分野の基礎的知識・技能	十分な教養と少し専門的知識を組み合わせて、自らが感じた専門分野の特徴を説明できること。
DP2 多様な価値観を理解し、共に生きる社会をめざして行動できる。	共生社会の態度	多様な価値観を持ってる人たちそれが尊ばれる社会の実現に向けて行動できる。
DP3 高い倫理観をもち、他者と協働して新たな価値を創造することができる。	協働する力	立場の異なるものが、一つの目的に向かって、それぞれの特性をもって役割分担しながら取り組むための協働。
	他者理解と創造	他者の立場や意見を聞き、自分の立場や意見を理解する。他の立場や意見を尊重しながら、自分の立場や意見を表現する。他者の立場や意見をもとに、自分の立場や意見を構成する。
DP4 教育や保育に関する専門的な知識・技能を身に付けている。	教育や保育に関する知識・技能	教育や保育に関する専門的な知識・技能について十分理解しており、社会の中での生じることができる。
DP5 教育や保育の専門的視点から社会に課題意識をもち、論理的に自分の考え方を創ることができます。	情報の収集と分析	種々のメディアを介して情報を検索・収集し、適切な情報・精査・分析する力
	論理的思考力	自分の立場や意見に対して、複数の客観的な根拠のなかで切り替わるものを見出し、筋道を立てて組み合わせて納得感を近くための力
	問題の発見と解決	専門的な知識を使って、自分なりの問い合わせる力、その解決のための説明・説教を創るために
DP6 教育や保育に関する諸課題の解決のために学び続ける意をもっている。	自律的に学び続ける力	目の前の課題解決にむけて、自らをコントロールして継続的に学ぶ力